

第50回記念 魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会

第37回 魁星旗争奪全国高校女子剣道大会 における

『新型コロナウイルス感染拡大防止等に関する基本方針』

秋田魁新報社・秋田県剣道連盟・秋田県高体連剣道専門部

魁星旗高校剣道大会 大会事務局

第50回記念 魁星旗争奪全国高校勝ち抜き剣道大会

第37回 魁星旗争奪全国高校女子剣道大会開催における感染拡大防止ガイドライン

秋田県剣道連盟

秋田県高等学校体育連盟

剣道専門部

本連盟、専門部では秋田県教育庁保健体育課・秋田県高等学校体育連盟・全日本剣道連盟・全国高等学校体育連盟剣道専門部・秋田県剣道連盟発出のガイドラインをもとに、以下のように定め、本大会を開催することとします。

1. 各関係者区分の定義について

- (1) 大会関係者（大会役員、来賓、視察、競技専門部から認められている者）
- (2) 出場校関係者（監督、引率責任者、選手）
- (3) 大会参加者（上記（1）、（2）に該当する者をまとめた総称）

2. 大会参加判断基準について

(1) 感染者、濃厚接触者、感染疑い者、接触者（要観察者）の定義

ア. 感染者

- ・PCR検査（LAMP法、TMA法も含む。※以下同じ）、抗原定量検査または抗原定性検査で陽性と判定された者。
- ・感染者の判定日とは症状が出始めた日とし、無症状の場合は陽性と判定された検体採取日とする。

イ. 濃厚接触者

- ・濃厚接触者は原則として所轄保健所の判断による。
- ・濃厚接触者の判定日とは感染者の感染可能期間に接触した日とする。

ウ. 感染疑い者

- ・発熱（37.5℃以上）や風邪症状（咳、のどの痛み）、だるさや息苦しさ、味覚や嗅覚の異常など、体調不良チェック項目該当者または医師（看護師）により体調不調を認められた者を感染疑い者とする。ただし、体調不良チェック項目該当者であっても、次の①②に該当するものは除く。

① 医師により感染者である可能性が低いと診断された場合

② 体調不良チェック項目以外で「同居家族や身近な知人で感染が疑われる方」のみの該当者である場合

オ. 接触者（要観察者）

- ・濃厚接触者の陰性判定前および経過観察期間（5日間）中に、当該濃厚接触者にマスクなしで接触したものなど、イ、ウ以外に感染が疑われる者。

(2) 大会参加者の参加判断基準

・大会初日に最短で参加できるパターンの例です。それぞれの状況に応じて適宜読み替えてください。なお、療養・待機期間の解除については医療機関の指示に従ってください。

●・・・判定日 ○・・・健康観察表の項目に該当がなければ参加可能

×・・・参加辞退（但し、判断に迷う場合は大会事務局に問い合わせをする。）

状況\発症日等	大会前											魁星旗大会		
	11日前	10日前	9日前	8日前	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	1日目	2日目	3日目
感染者有症状				●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
感染者無症状				●	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
感染者無症状（要検査）						●	×	×	×	×	検×	○	○	○
濃厚接触者						●	×	×	×	×	×	○	○	○
（要検査）									●	×	検×	検○	○	○
感染疑い者								●	×	×	×	○	○	○
接触者												○	○	○

【感染者】

（有症状者）判定日から7日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過した場合には療養期間7日間で解除可能。但し10日間が経過するまでは、感染リスクが残存することから、感染予防行動を徹底する。

（無症状者）抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認し、当該校校長へ報告した上で、6日目から当該校校長の責任において参加可能。

【濃厚接触者】

医師又は保健所の指示に従い、療養期間制限が解除された場合には参加可能。又は2日目及び3日目に抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認し、当該校校長へ報告した上で、3日目から当該校校長の責任において参加可能。

【感染疑い者】

大会参加日に、「体調不良解消後に薬剤服用なしで3日以上経過」かつ「医師が感染者の可能性が低いことを診断またはPCR等検査により陰性判定」の場合は参加可能。

※1 大会への参加や辞退の判断については、保健所や医療機関の指示や判断を基に当該校校長が最終的な判断をする。

※2 参加チームの大会参加判断基準に以下のことを加え、当該校校長の判断基準とする。
（令和4年12月21日付、秋田県高等学校体育連盟主催大会等における大会参加者に求める新型コロナウイルス感染症防止対策剣道専門部ガイドラインについて抜粋）

ア 大会前、大会期間中に所属チーム内において、感染者や濃厚接触者（感染疑い者）が判明した場合、他の選手の参加については、抗原定性検査キット（研究用不可）等を使用し、陰性でかつ県高体連感染防止対策3. 体調不良チェック項目の①～⑤（下記3 健康記録表兼同意書について記載）を確認すること。


イ 参加選手の保護者の同意を得ること。

3. 健康記録表兼同意書について

全ての参加者は、大会7日前より毎日検温を実施し、健康状態を「健康記録表兼同意書」に記録すること。チームの責任者（監督・引率責任者）は記載内容を確認した上で、同意書に署名したものを受付（入場時）に提出すること。

－健康チェック項目－

- ① 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上、ただし平熱が37度前後の場合は平熱＋5度までは参加を認めることとする。）
- ② せき、のどの痛みなどの風邪症状
- ③ 倦怠感、息苦しさ
- ④ 嗅覚や味覚の異常、違和感
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症陽性者とされた者との濃厚接触の有無
- ⑥ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ⑦ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある

7日前 3/22 水曜日	6日前 3/23 木曜日	5日前 3/24 金曜日	4日前 3/25 土曜日	3日前 3/26 日曜日	2日前 3/27 月曜日	1日前 3/28 火曜日	大会当日 3/29 水曜日
記録開始							記録提出
2日以上発熱、症状有り → 参加不可				1日でも発熱、症状有り → 参加不可			
健康記録表兼同意書の未提出、または虚偽の記載が見受けられる場合 → 参加不可							

4. 大会期間中に感染者が発生した場合の対応について

(1) 大会当日、期間中

受付・入場後に大会参加者が体調に異常をきたし、検査（PCR検査、抗原検査等）の結果で陽性と判明した場合、大会参加者の陽性が判明した時点で当該参加者の所属するチームの大会出場は認めない。必ず大会本部に報告をすること。

(2) 大会後

大会参加者及び関係者は、大会終了7日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、大会事務局（秋田県剣道連盟）に対して速やかに報告すること。

大会事務局 秋田県剣道連盟 TEL 018-838-1783

5. 入場・受付時提出物

大会初日受付時に様式1（28日受付時提出可）、2を受付に提出してください。2日目、3日目は入場時に様式2を提出してください。前日練習28日（火）は様式3を受付に提出してください。

6. 竹刀計測、「竹刀検査完了届」の提出

会場内においての竹刀計測は実施しない。監督の責任の下、竹刀の安全を確認し「剣道用具確認証」と併せて「竹刀検査完了届」を大会本部に提出することとする。

7. マスクの着用

全ての大会参加者及び大会関係者は会場内での常時マスク着用を義務付ける。試合の際には、面マスクと、飛沫飛散防止のためのマウスシールドを必ず着用すること。

8. 手指消毒及び施設内の消毒について

全ての大会参加者、大会関係者に対して入場時に手指の消毒を行う。（検温と同時に）入場後も会場内においては適宜手指消毒を求める。消毒液は会場内の入口各所に設置し、参加校に対しても個別に消毒液の持参を促す。また、共有する各所（トイレ、練習会場等）については大会係員が適宜巡回の上消毒を実施する。

9. 試合前、試合中及び試合後の選手、監督の行動について

(1) 試合前

- ・選手及び監督は自校の1試合前に試合場待機場所に入り指定された場所に着席する。
- ・各自手指消毒を行うこと。
- ・選手、監督は身体的距離を確保し、密にならないように注意する。

(2) 試合中

- ・声を出しての応援や指示をしないこととする。
- ・試合中の監督による指示、指導は禁止とする。

(3) 試合後

- ・ 試合終了後は速やかに引き上げ、会場から退出する。
- ・ ミーティング等は密を避け、会場外で身体的距離を確保して短時間で行う。
- ・ 試合日程終了した場合は、速やかに退場し会場内に滞留しないこと。